

平成25年度

# 決算報告

平成25年度の一般・特別・企業会計の決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。  
(金額は千円以下を四捨五入しています)

お問い合わせ

一般・特別会計… 市役所財政課

☎ 088・684・1221

企業会計…………… 企業局水道企画課

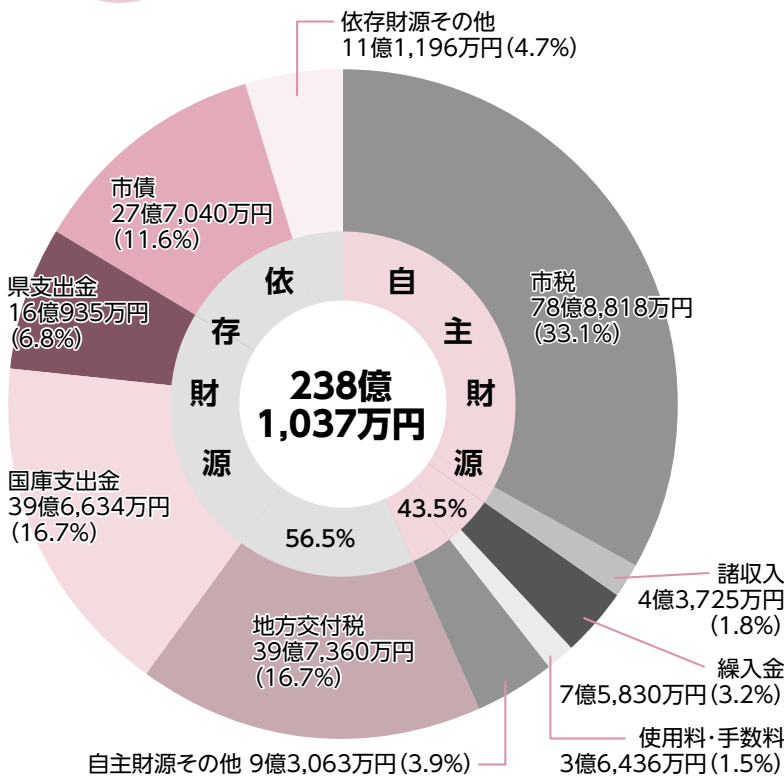
☎ 088・685・3330

一般会計

歳入  
総額

## 238億1,037万円

(前年度 232億3,233万円)



### 歳入歳出とも前年度から増加

# 平

成25年度一般会計決算額は、歳入が238億1,037万円（前年度比5億7,804万円増）、歳出は、234億6,187万円（前年度比7億7,415万円増）となり、歳入歳出ともに24年度から増額となりました。これは、学校耐震化推進事業やデジタル防災行政無線整備事業、国の緊急経済対策に伴う各種事業の増などにより、歳出とこれに伴う歳入が増加したことです。

### 歳入決算の概要

#### 市税

法人市民税や固定資産税の減などによって、前年度から約2億円の減額となりました。

#### 地方交付税

前年度の法人市民税額が大きかったことなどにより、前年度から約1千万円の減額となりました。

#### 国庫支出金

国の緊急経済対策による交付金や「耐震改修等事業費補助金」の増額などに伴い、前年度から約8億4千万円の増額となりました。

#### 県支出金

「緊急雇用対策事業補助金」の減額などにより前年度から約1千万円の減額となりました。

#### 市債

市営バス事業の清算に伴う第三セクター等改革推進債の減額などにより前年度から約3億6千万円の減額となりました。

## 用語解説

■ **国庫支出金(注1)**…国庫補助金・国庫負担金など国が用途を特定して交付する資金

■ **県支出金(注2)**…県が用途を特定して交付する補助金・負担金などの資金

■ **市債(注3)**…建設事業などに充てるための借入金

■ **扶助費(注4)**…生活保護費や福祉施設での高齢者や障がい者の支援などに必要な費用

■ **公債費(注5)**…市債の返済に充てる元金と利子

■ **義務的経費(注6)**…人件費や借入金返済など、必ず支払わなければならないお金

■ **補助費等(注7)**…他の地方公共団体や民間に対して、交付される現金的給付に係る経費(主に、講師謝金などの報償費、保険料などの役務費、負担金・補助金および交付金など)

■ **投資的経費(注8)**…道路整備や施設建設、災害復旧などに使うお金

## 一般会計

歳出総額

234億618万円

(前年度 226億3,203万円)

## 歳出決算の概要

人件費

職員の減少などにより、前年度から約1億5千万円の減額となりました。

扶助費

生活保護費や自立支援給付費等の増額などにより、前年度から

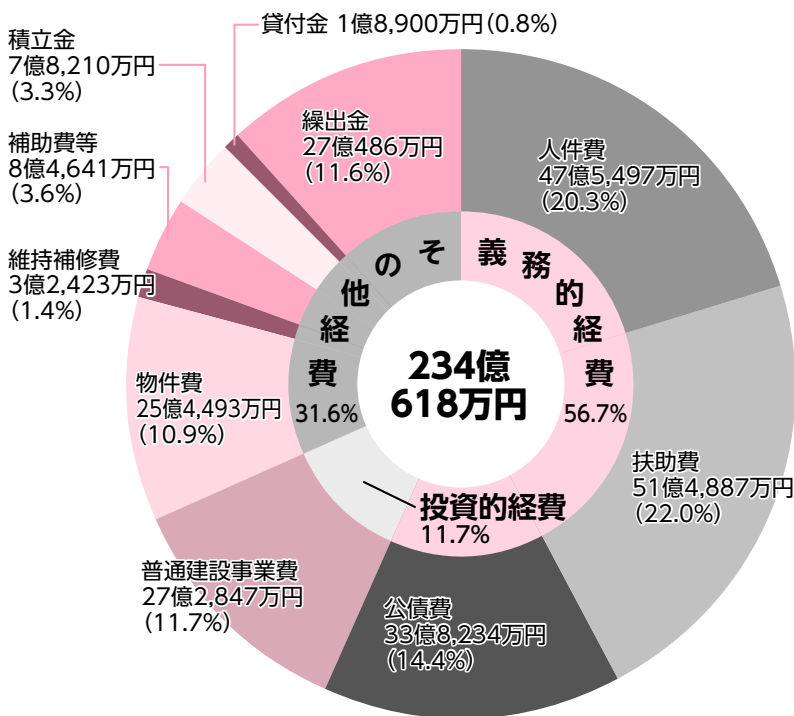
約1億1千万円の増額となりました。

公債費

借り換えに伴う償還の減などにより、前年度から約4千万円の減額となりました。

義務的経費

人件費と扶助費、公債費の合



計であり、前年度から約8千万円の減額となりました。

補助費等 (注7)

市営バス事業の清算が終わったことなどにより、前年度から約5億2千万円の減額となりました。

投資的経費 (注8)

学校耐震化推進事業やデジタル防災行政無線整備事業の増などにより、前年度から約10億8千万円の増額となりました。

改善しているもの  
厳しい財政状況は続く

歳

入から歳出を引いた形式収支は4億419万円の赤字となりました。しかし、これは基金(家計でいう預貯金)や市債(家計でいう借入金)を活用し、収支を保っている状態で、依然として厳しい財政状況は続いています。次ページでは、一般会計の主な使い道と、特別・企業会計の詳細、健全化判断比率で見る本市の財政状況を紹介します。

# 一般会計

主な使い道

自治総合センターの助成金を活用し、街路灯の取り換えと塗装を実施しました。

## 商工費

- ▶ 地域経済活性化推進(389万円)
- ▶ ばんどう門前通り魅力向上(949万円) ←
- ▶ 阿波踊り振興(1,462万円)
- ▶ 橋を渡れば感動の国セールスプロモーション(857万円)
- ▶ 徳島ヴォルティスホームタウン連携(273万円)

## 総務費

- ▶ 旧鳥居記念博物館改修(476万円) ←
- ▶ 公共交通対策(1億3,352万円)
- ▶ 過疎集落等自立再生緊急対策(800万円) ←
- ▶ デジタル防災行政無線施設整備(2億8,226万円)
- ▶ 津波避難計画改定(1,691万円)
- ▶ 地域防災計画改定(397万円)
- ▶ 「第九」アジア初演ブランド化推進(711万円)

耐震改修に係る実施設計を行いました。

国の補助金を活用して、北灘町地域力向上事業を実施。地域の課題を解決するための補助金を交付し、同町の活性化を図りました。

## 土木費

- ▶ 木造住宅耐震診断・改修支援(1,367万円)
- ▶ 道路維持補修(9,416万円)
- ▶ 道路橋梁耐震化・長寿命化(1億6,146万円)
- ▶ 四国横断自動車道周辺対策(5,562万円)
- ▶ 排水機場樋門整備・管理(1億3,461万円)
- ▶ シーカヤック浮き桟橋設置(425万円)

## 民生費

- ▶ 災害時要援護者支援(643万円)
- ▶ 女性子ども支援(954万円)
- ▶ 障がい者自立支援(9億5,188万円)
- ▶ 生活保護費支給事務(13億6,744万円)
- ▶ 児童扶養手当支給事務(2億5,458万円)
- ▶ 子どもはぐくみ医療費助成(1億8,209万円)
- ▶ 児童手当交付(8億8,886万円)
- ▶ 子ども子育て支援事業計画策定(181万円)

## 消防費

- ▶ 消防救急無線デジタル化(1,422万円)

## 衛生費

- ▶ 合併処理浄化槽普及促進(841万円)
- ▶ 旧ごみ焼却施設解体撤去(208万円)
- ▶ ごみ焼却施設管理事務(4億208万円)
- ▶ 予防接種事業(9,597万円)

## 教育費

- ▶ 学校施設耐震化推進(13億759万円)
- ▶ 鳴門市第一中学校校舎改築(1,557万円)
- ▶ 中学校空調設備整備(182万円) ←
- ▶ 学校施設整備(5,655万円)
- ▶ 新学校給食センター建設(1,615万円)

## 農林水産業費

- ▶ 経営体育成支援事業補助金(1,718万円) ←
- ▶ 新規就農総合支援(2,850万円)
- ▶ 水産業ブランド推進・沿岸漁業等振興(1,849万円)

県の補助金を活用し、計画的な農業経営を行うために必要な農業用機械などを導入するための費用を助成しました。(農家11件)

第二中と鳴門中、瀬戸中の普通教室にエアコンを設置するための設計を実施しました。\*平成26年7月に全中学校に整備済。

## 平成25年度決算に基づく健全化判断比率

以下の健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準や財政再生基準を超えた場合、財政健全化を図るための「財政健全化計画」あるいは「財政再生計画」を定めなければならず、また、一部の市債発行が制限されるようになります。

本市の平成25年度決算における4指数は、市営バス事業の清算に伴う地方債の償還の増などにより、実質公債費比率が増加しています。早期健全化団体の基準を下回っているものの、今後も引き続き注視する必要があります。

この2つの基準を上回った場合、早期健全化団体や財政再生団体となってしまいます。

健全化判断比率		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
決算数値	平成24年度	－％ (△3.52%)	－％ (△50.98%)	15.3%	124.0%
	平成25年度	－％ (△2.35%)	－％ (△59.50%)	15.5%	121.4%
早期健全化基準		12.90%	17.90%	25.0%	350.0%
財政再生基準		20.00%	30.00%	35.0%	

\* ーは黒字のため実質赤字・連結実質赤字比率がないことを表します。また、かつこ内は黒字の比率をマイナス表記で示しています。

鳴門市の財政状況をチェック



## 企業会計



地方公共団体が運営する地方公営企業  
(企業局分)における会計

### 水道事業

前年度比

総収益額	12億1,481万円	1.1%増
総費用額	11億918万円	4.4%減
純利益額	1億563万円	

給水人口 60,908人

給水量(有料分) 898万2,179トン(0.9%減)

※12ページで水道事業決算の詳細を紹介しています。

## 特別会計

一般会計と別に設けられ、独立した経理  
管理が行なわれる会計

### 国民健康保険事業 … 差引額 1億9,422万円

【歳入】 80億8,843万円

- ▶国民健康保険料 …… 16億3,007万円(20.2%)
- ▶一般会計からの繰入金 … 4億9,484万円(6.1%)

【歳出】 78億9,421万円

- ▶保険給付費 …… 52億7,051万円(66.8%)

### 後期高齢者医療 …… 差引額 1,619万円

【歳入】 7億6,801万円

- ▶後期高齢者医療保険料 … 5億3,587万円(69.8%)
- ▶一般会計からの繰入金 … 2億957万円(27.3%)

【歳出】 7億5,182万円

- ▶広域連合納付費 …… 7億1,763万円(95.5%)

### 介護保険事業 …… 差引額 3,413万円

【歳入】 56億7,816万円

- ▶介護保険料 …… 9億1,663万円(16.1%)
- ▶一般会計からの繰入金 … 8億1,832万円(14.4%)

【歳出】 56億4,403万円

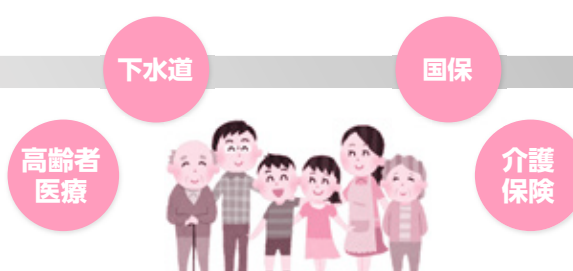
- ▶保険給付費 …… 53億7,303万円(95.2%)

### モーターボート競走事業

場間場外発売を173日実施したほか、エディウィン鳴門で、4場併売を年間を通じて行うなど、積極的な事業展開を図りました。年間開催日数は162日で、入場人員は202,520人。

前年度比

舟券売上金	224億2,588万円	18.6%増
総収益額	440億6,309万円	3.7%増
総費用額	435億4,280万円	3.7%増
純利益額	5億2,029万円	
一般会計への繰入金	5,000万円	前年同額



### 公共下水道事業 …… 差引額 2,392万円

【歳入】 10億1,896万円

- ▶国庫支出金 …… 2億8,079万円(27.6%)
- ▶一般会計からの繰入金 … 3億4,677万円(34.0%)

【歳出】 9億9,504万円

- ▶建設費 …… 6億305万円(60.6%)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
公設地方卸売市場事業	1,979万円	1,937万円	42万円
産業団地開発事業	1億2,537万円	1億958万円	1,579万円
住宅新築資金等貸付事業	1,228万円	1,199万円	29万円
光熱水費等支出	5億6,137万円	5億6,137万円	0万円
給与費等管理	47億6,382万円	47億6,382万円	0万円
公債費管理	37億5,386万円	37億5,386万円	0万円

## 引き続き積極的な行財政改革を

今後、後も扶助費や公債費、他会計繰出金などの増加傾向が続くとともに、公共施設の耐震化や防災・減災対策事業など、緊急性の高い課題に対しては早急に対応していかなければな

らず、より一層厳しい財政運営となることが予想されることから、引き続き行財政改革に積極的に取り組み、財政の健全化を図っていきます。